

所属	看護学部／臨床看護学系	職名	助手	氏名	山住 康恵
----	-------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

①新人看護師に必要なサポートシステムに関する研究

厚生労働省をはじめ、看護協会や病院の様々な工夫や努力にもかかわらず、新卒看護師の離職率は依然減少をしていません。そこで、入職後3ヶ月目の新卒看護師の離職願望の実態調査を行い、ストレス対処能力、ストレスサー、職場サポートと離職願望との関連を明らかにし、新卒看護師が必要としている職場サポートシステムについて検討を行いました。

②術中看護における器械出し看護師の思考と行動分析

近年、医療技術の進歩や術式の拡大により、手術件数は増加傾向にあります。手術室看護師は、予断が許されない手術展開での瞬時の判断力や対応力、解剖や疾患など多岐にわたる知識に裏づけられた熟練の介助技術が、求められています。これまでの手術室看護師教育では、ベテラン看護師の介助技術や瞬時の判断を新人看護師に言語化して指導することが困難でした。そこで、ベテラン看護師の介助技術や瞬時の判断、安全に配慮した介助時動作について、総合的かつ科学的に分析し、新人看護師の技術向上のための教育資源として役立てたいと考えています。

2. 研究業績

②その他最近の業績

〈学会報告〉

- ・ 山住 康恵：「滅菌条件の再考察」、第23回日本環境感染学会。2008年2月
- ・ 山住康恵、於久比呂美、小野寺洋子、清水夏子、脇崎裕子、中野真理子、石飛マリコ、野口玉枝、福本優子、宮崎亜友美、山口のり子、山下浩典、小西 恵美子：「医療実践における『和』」、日本看護倫理学会第2回年次大会。2009年6月
- ・ 福本優子、石飛マリコ、於久比呂美、小野寺洋子、清水夏子、中野真理子、野口玉枝、宮崎亜友美、山口のり子、山下浩典、山住康恵、脇崎裕子、小西恵美子。「職場環境における『同』」、日本看護倫理学会第2回年次大会。2009年6月

3. 外部研究資金

笹川科学研究助成、「新卒看護師に必要なサポートシステムに関する研究 ―入職後3ヶ月目の新卒看護師のストレスサーとストレスコーピングの実態調査から―」、32万円、平成21年度、単独研究

5. 所属学会

日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本看護学教育学会、日本手術看護学会、日本看護倫理学会、日本環境感染学会

6. 担当授業科目（補助）

〈学部〉

成人看護論Ⅰ（補助）・2単位・2年・前期、成人看護論Ⅱ・Ⅲ（補助）・2単位・2年・後期、成人・老年看護実習（補助）・6単位・3年・通年、看護実践論1単位・3年・前期

7. 社会貢献活動

- ・ 国境なき医師団の活動を支援しています。
- ・ プランジヤパンの活動を支援しています。

8. 学外講義・講演

（株）赤ちゃん本舗主催 マタニティースクールの講師を行っています。

9. 附属研究所の活動等

- ・ ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員
- ・ ヘルスプロモーション実践研究センター主催 公開講座（2009年11月3日）